

- 1 要配慮者利用施設に関する参考情報
- 2 洪水ハザードマップの作成支援
- 3 岩手県が提供する河川情報
- 4 逃げなきゃコール
- 5 デジタル技術を活用した最新の取組
- 6 気象業務法及び水防法の一部改正について
- 7 陸前高田市の情報の伝達及び収集に係る新たな取組

1 要配慮者利用施設に関する参考情報

事務連絡
令和5年4月7日

各都道府県 水防担当課長 殿
各都道府県 砂防担当課長 殿

国土交通省水管理・国土保全局
河川環境課水防企画室 課長補佐
砂防部砂防計画課地震・火山砂防室 企画専門官

要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援資料の周知
及び訓練実施の促進について

要配慮者利用施設において、大雨の際に円滑かつ迅速に避難を行うため、水防法及び土砂災害防止法では、市町村の地域防災計画に定められた要配慮者利用施設に対し、避難確保計画の作成、訓練の実施及びそれらを市町村長に報告することが義務付けられています。

今般、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び訓練実施を促進するため、下記の通り避難確保計画の作成や訓練について分かりやすくポイントをまとめたリーフレット及び動画を作成したほか、施設における訓練の実施にあたっての留意事項を取りまとめましたので、貴管内市町村に周知し、施設管理者等の適切な対応を促すようお願いします。

記

1. リーフレット及び動画の作成について

国土交通省の「避難確保計画の作成・活用の手引き」の内容を簡潔にまとめた、以下のリーフレット及び動画を作成しましたので、施設管理者等の避難確保計画作成や訓練実施の促進にご活用いただきますようお願いします。

① リーフレット「避難確保計画の作成・活用について」

要配慮者利用施設の管理者等向けに、避難確保計画及び訓練の必要性や具体的内容について理解してもらうことを目的としたリーフレットです。

国土交通省の「避難確保計画の作成・活用の手引き」の内容を踏まえ、避難確保計画に定めるべき項目や、それを定める際の留意点等を簡潔にまとめているほか、訓練の種類や実施方法について掲載しています。

② リーフレット「水防法・土砂災害防止法が改正されました」

令和3年の水防法、土砂災害防止法の改正内容について解説するとともに、それらに定められた以下の内容について説明しています。

- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成
- ・避難訓練の実施・防災教育の実施
- ・市町村による助言・勧告について

「都道府県・市町村職員向け」、「施設の所有者・管理者向け」の2種類があります。

③ 動画「要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・確認のポイント」【別紙】

避難確保計画を作成する要配慮者利用施設の管理者等及びその計画を確認し助言等を行う市町村職員向けに、避難の実効性を確保する上で注意すべきポイントについて理解を深め、計画の充実・改善を図っていただくことを目的とした学習用動画です。

この動画では、国土交通省の「避難確保計画の作成・活用の手引き」、「計画様式」や「チェックリスト」に沿って、避難確保計画に定めるべき項目ごとの留意点について分かりやすく解説しています。

URL : <https://youtu.be/Va400F33ucs> 【国土交通省 YouTube】

2. 訓練の実施について

市町村の地域防災計画に定められた要配慮者利用施設が、訓練を実施しその結果を市町村に報告することは水防法及び土砂災害防止法に基づく義務であり、原則として年1回以上実施するよう通知しているところ、今般、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に見直される予定であることも踏まえ、あらためて施設管理者等に対し適切な実施を促していただくようお願いします。

なお、訓練の実施方法については、立退き避難や屋内安全確保を実際に行う実地訓練のほかに、施設職員による情報収集や情報伝達等の訓練、地図等を活用して避難路の検討を行う等の図上訓練などがあり、施設利用者の負担等を考慮して、訓練方法や参加人数を工夫することも可能であるとして、上記リーフレットにおいてもその旨記載していますので申し添えます。

○訓練の実施と市町村への報告は水防法、土砂災害防止法上の義務。

○新型コロナウイルスの感染症法の位置づけが5類になるため、訓練の適切な実施を促進。

○訓練の実施方法は、実地訓練のほかに図上訓練も選択可能。

1 要配慮者利用施設に関する参考情報

避難確保計画作成支援動画

別紙

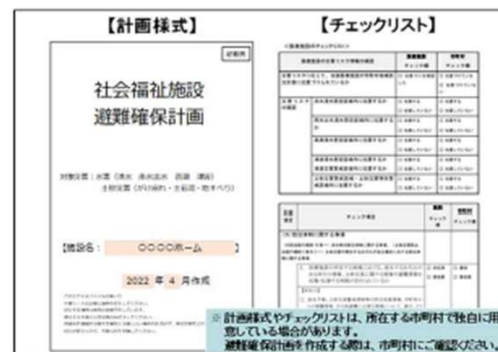
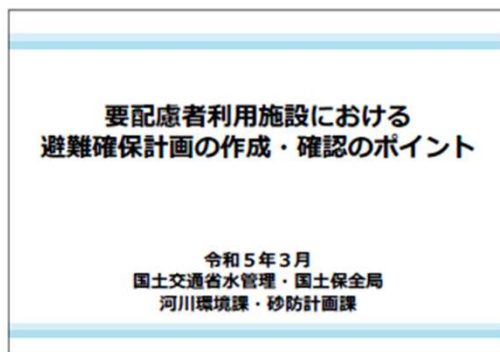
「要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・確認のポイント」

- 避難確保計画作成する施設管理者等、及びその計画を確認し助言等を行う市町村職員向けに、避難確保計画の作成又は確認時において、避難の実効性を確保する上で基本となるポイントや注意すべきポイントについて理解を深め、計画の充実・改善を図っていただくことを目的とした学習用動画。
- 国土交通省で公表している「計画様式」や「チェックリスト」に沿って、項目ごとの留意点について分かりやすく解説しています。

URL: <https://youtu.be/Va4O0F33ucs> 【国土交通省YouTube】



【動画の画面例】



2. 災害リスク等の確認

様式1-3 施設が有する災害リスク

水害(洪水、雨)	浸水深、浸水継続時間を確認	0.5m~3m
洪水浸水想定区(洪水)	<input checked="" type="checkbox"/> 浸水深、浸水継続時間を確認	1日~3日未満
雨水出水浸水想定区域(雨水出水)	<input type="checkbox"/> 該当なし	区域の該当の有無
高潮浸水想定区域(高潮)	<input type="checkbox"/> 該当なし	0.5m~1m
津波災害警戒区域(津波)	<input type="checkbox"/> 該当なし	12時間~1日未満
	<input checked="" type="checkbox"/> 浸水深、浸水継続時間	0.5m~3m
	<input checked="" type="checkbox"/> 浸水深、浸水継続時間	1日~3日未満
	<input checked="" type="checkbox"/> 浸水深、浸水継続時間	2m
	<input checked="" type="checkbox"/> 浸水深、浸水継続時間	50分

土砂災害

土砂災害特別警戒区域	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input checked="" type="checkbox"/> 該当(以下の該当する分欄に <input checked="" type="checkbox"/>)
土砂災害警戒区域	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input checked="" type="checkbox"/> 付け崩れ(急傾斜地の崩壊)
		<input type="checkbox"/> 土石流
		<input type="checkbox"/> 地すべり(地滑り)

5. 避難誘導

様式4-6 避難誘導

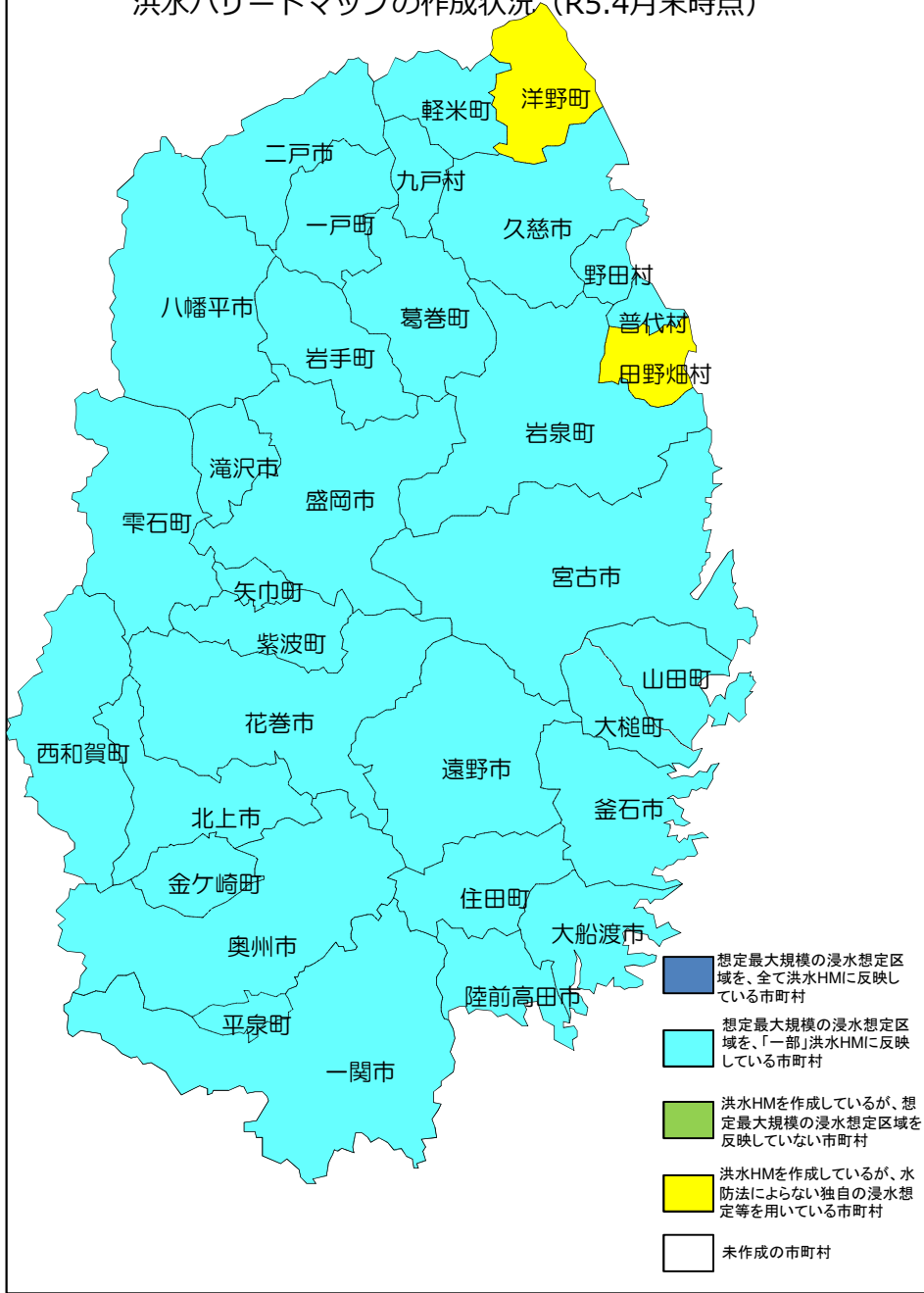
①原則、施設利用者の適切な支援を提供できる人(系列グループホーム)に立寄り避難を促す。
②避難する時間が確保できない場合は、指定緊急避難場所(指定避難所)に立寄り避難を促す。

洪水	避難方法	避難所要時間	避難に要する時間	避難所要時間
系列グループホーム	系列グループホーム	100分	<input checked="" type="checkbox"/> 4分	104分
指定緊急避難場所	指定緊急避難場所	300分	<input checked="" type="checkbox"/> 4分	304分
指定避難所	指定避難所	200分	<input checked="" type="checkbox"/> 4分	204分
指定避難所	指定避難所	30分	<input checked="" type="checkbox"/> 4分	34分

避難方法や避難に要する時間を確認

2 洪水ハザードマップの作成支援

洪水ハザードマップの作成状況 (R5.4月末時点)



〔現状〕 (R5.4月末時点)

○作成済 33市町村

- うち、
- 想定最大規模に全河川で対応 0市町村
 - 想定最大規模に一部河川で対応 31市町村
 - 想定最大規模に未対応 (計画規模等で作成) 0市町村
 - 水防法以外の浸水想定等で独自作成 2市町村

※R5～R7洪水浸水想定区域の追加指定予定河川を含む

○未作成 0市町村

〔連絡事項〕

- ・ 想定最大規模で作成済の市町村においても、**洪水浸水想定区域が追加指定された場合には、ハザードマップの更新が必要です。**
- ・ 洪水ハザードマップの作成に係る経費について、**防災・安全交付金の活用が可能です。**

3 岩手県が提供する河川情報

岩手県河川情報システム

河川の水位、雨量、ダムの水位、河川のカメラ画像を提供しています。



岩手県河川情報システム

検索

- ① **水位情報**… 最寄りの河川の水位を確認できます。避難判断水位や、氾濫危険水位と比較して、避難準備や、避難行動を行う目安としてください。
- ② **雨量情報**… 降雨量を確認できます。今後どの程度水位が上昇するかの目安としてください。
- ③ **カメラ画像**… リアルタイムで河川の状況を確認できます。水位情報と併せて確認し、避難準備や避難行動を行う目安としてください。

河川監視カメラ

河川情報システムから、河川の状況をリアルタイムで確認することができます。

河川名	小平川
観測所名	志麻
堤防高	4.870
氾濫危険水位	1.80
避難判断水位	1.60
氾濫注意水位	1.30
水防団待機水位	0.90
月/日 時:分	水位 (m)
07/12 12:40	2.78
07/12 12:30	2.77
07/12 12:20	2.77
07/12 12:10	2.75
07/12 12:00	2.74
07/12 11:50	2.73
07/12 11:40	2.71
07/12 11:30	2.70
07/12 11:20	2.68
07/12 11:10	2.65
07/12 11:00	2.63
07/12 10:50	2.60

《カメラ画像の確認方法》 (箇所別表示)

- ① カメラ画像を選択します。
- ② 確認したい地区を選択します。
- ③ 確認したい観測所を選択します。

- 岩手県河川情報システム
- R2.6～ 河川監視カメラを大幅に増設
- R2.12 アクセス集中対策①
サーバー増強
- R4.4 アクセス集中対策②
簡易表示用サーバー設置
- R5.3 耐障害性の向上
衛星回線 (VSAT) による回線二重化

3 岩手県が提供する河川情報

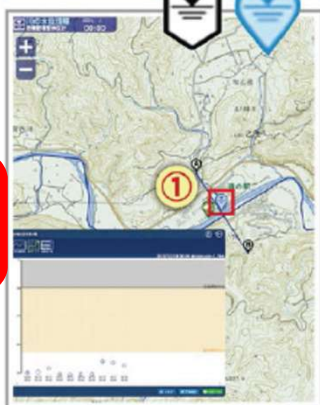
危機管理型水位計

国土交通省が運営している「川の水位情報」から、身近な河川の水位情報とカメラ画像を確認できます。

●水位情報の確認方法



① 地図上でスクロールし、確認したい位置を拡大します。そして、水位計のアイコンを選択します。



●カメラ画像の確認方法



② 地図上でスクロールし、確認したい位置を拡大します。そして、カメラのアイコンを選択します。

○【国】川の水位情報
R2.7～ サーバー増強等の
アクセス集中対策を実施

川の水位情報HP
(<https://k.river.go.jp/>)



○避難支援の新ツール
R5.3～ 洪水時の水位情報を
LINE、ツイッターで配信開始

メール・SNSによる水位情報の提供

河川の水位が高くなると、メール・SNSでお知らせします。

メール



いわてモバイルメール

LINE



岩手県公式アカウント
への登録方法

Twitter



Twitterへの登録方法
配信アカウント一覧

QRコードを読み取り、メール・LINE・Twitterの配信(友達)登録をすることで、登録した地区の水位周知河川における氾濫危険水位(市町村長の避難勧告発令の目安)、避難判断水位(市町村長の高齢者等避難発令の目安)超過情報等を受け取ることができます。

4 逃げなきゃコール

住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクトによる取組

逃げなきゃコール

あなたの一声で避難を後押し

おばあちゃんが住んでいる地域の災害情報を受け取れるようにしておこう

STEP 1 特設ページへアクセス

QRコード
または **逃げなきゃコール** 検索

STEP 2 アプリ・サービスをインストール

各種アプリやサービスから登録した地域の災害情報が通知されます。

平常時

おばあちゃん
大雨で洪水になりそうだから早く避難して！

もしもし？

通知が来てる！
すぐにおばあちゃんに電話しなきゃ！

緊急時

☆あなたの一声で避難を促しましょう

今、避難所に着いたわよ！
ありがとう！

わかったわ！
すぐに避難するわね

逃げなきゃコール 大切な人が暮らす市区町村の防災情報をアプリで入手し直接電話で避難を呼びかける取り組みです。

① アプリ・サービスの登録 ② 災害情報の通知 ③ **逃げなきゃコール**

災害発生時、大切な人のためにあなたができること

逃げなきゃコール

STEP 1 特設ページへアクセス

QRコード
または **逃げなきゃコール** 検索

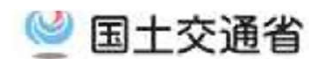
STEP 2 アプリ・サービスをインストール

各種アプリやサービスから登録した地域の災害情報が通知されます。

① アプリ・サービスの登録 ② 災害情報の通知 ③ **逃げなきゃコール**

5 デジタル技術を活用した最新の取組

ワンコイン浸水センサ ～官民連携による流域の浸水状況把握～



浸水被害の把握

ヘリによる調査

- リアルタイム性**
- ・悪天候時に調査不可
 - ・夜間調査不可



痕跡調査

- 機動力**
- ・広範囲の調査不可
 - ・多数の人材確保
 - ・専門の技術者が必要



【既存の技術】

ワンコイン浸水センサ

センサの特徴

小型、長寿命かつ低コストで、堤防や流域内に多数の設置が可能な浸水センサ



実証実験に用いている3種類の浸水センサ

- ・小型
- ・低コスト
- ・長寿命

官民連携による浸水域把握イメージ

堤防の越水・決壊などの状況や、地域における浸水状況の速やかな把握のため、浸水センサを企業や地方自治体等との連携のもと設置し、情報を収集する仕組みを構築



【技術開発】

活用イメージ

【災害時】

- ・早期の人員配置
- （道路冠水による通行止め）
- （避難所の開設 等）
- ・ポンプ車配置の検討

【復旧時】

- ・罹災証明（自治体等）の簡素化・迅速化
- ・保険の早期支払い
- ・災害復旧の早期対応

など

スケジュール

令和3年度

- ・実証実験準備会合を開催
- ・実証実験に向けてセンサの仕様や実施内容を検討・確定

令和4年度

- ・モデル地区となる自治体5市町において、国・自治体・民間企業等（10団体）にてセンサを設置し、実証実験を開始

令和5年度（R5.3月末時点）

- ・モデル地区となる自治体を39市町に拡大し、国・自治体・民間企業等（24団体）にてセンサを設置し、実証実験を継続
- ・必要に応じ、エリアを拡大

5 デジタル技術を活用した最新の取組

Press Release

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和5年4月14日
水管理・国土保全局 河川計画課

**自治体・企業等からの新規参加者を決定
～ワンコイン浸水センサ実証実験～**

浸水の危険性がある地域に浸水センサを多数設置し、リアルタイムにその状況を把握する実証実験を実施しています。
このたび、令和5年度に継続実施する実証実験において、追加のモデル地区となる自治体、及びモデル地区において自らの施設等に浸水センサを設置・管理する企業・団体等を公募により決定しました。

○実証実験の参加者
今回の公募により、34の自治体・17の企業・団体等を追加参加者として、決定しました。(別紙参照)
今後は各関係者で調整し、浸水センサの設置を進めていきます。
※参加者は令和5年3月末時点の状況であり、今後、追加・変更等が生じる場合があります。



実証実験で設置した浸水センサの設置事例

＜実証実験の目的＞
近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっております。そのため、浸水センサを用いてリアルタイムに浸水状況を把握する仕組みの構築に向けて、民間企業と国や自治体等の様々な関係者が浸水センサを設置し、浸水センサの特性や情報共有の有効性等を実証するものです。
※これまでの実証実験概要等は以下WEBサイトに掲載しています。
今後、参加者の追加等あった場合はこちらでお知らせします。
<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>

【問合せ先】
国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室
企画専門官 外山(内線 35392)、係長 中村(内線 35394)
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8446

ワンコイン浸水センサ実証実験 令和5年度参加者一覧(令和5年3月末時点)		別紙
自治体名	企業・団体名(代表者) ※左記自治体内でセンサを設置する企業・団体等	
北海道美瑛町		
北海道新得町	(株)水エリサーチ	
北海道音更町	(株)北開水エレクトロニクス	
青森県野辺村	青森県土木整備部河川砂防課	
宮城県大崎市	一般財団法人 日本気象協会	
山形県中山町	(株)ティデイイー	
山形県川西町	(株)ティデイイー	
福島県伊達市	太陽新電(株)	
茨城県境町	一般財団法人 日本気象協会	
群馬県高崎市	太陽新電(株)	
埼玉県川越市	エヌエスティ・グローバリスト(株)	
	坂戸、鶴ヶ島下水道組合 朝日航洋(株)	
埼玉県坂戸市	エヌエスティ・グローバリスト(株)	
	坂戸、鶴ヶ島下水道組合 一般財団法人 日本気象協会	
千葉県野田市	エヌエスティ・グローバリスト(株)	
千葉県佐倉市	(株)広域高速ネット二九六	
千葉県酒々井町	(株)広域高速ネット二九六	
岐阜県大垣市	(株)オリエンタルコンサルタンツ	
静岡県磐田市		
静岡県南町	エヌエスティ・グローバリスト(株)	
(愛知県岡崎市)	(損害保険ジャパン(株))	
	(中央大学研究開発機構)	
	(あいおいニッセイ同和損害保険(株))	
	セイコーインスツル(株)	
愛知県豊田市		
三重県津市	AIG損害保険(株)	
三重県桑名市		
兵庫県姫路市	旭光電機(株)	
(兵庫県加古川市)	(中央大学研究開発機構)	
	(オブテックス(株))	
	(東京海上日動火災保険(株))	
兵庫県豊岡市	(株)オーク	
兵庫県三田市	旭光電機(株)	
兵庫県朝来市		
(兵庫県南あわじ市)	(ワンコイン浸水センサ実証実験共同)	
	富士機械産業(株)	
兵庫県養父市		
鳥根県江津市		
鳥根県川本町		
岡山県岡山市	国立大学法人岡山大学	
(徳島県美波町)	富士機械産業(株)	
高知県四万十市		
高知県いの町		
福岡県久留米市		
(佐賀県神埼市)	(有)ジョイックス交通	
大分県日田市		
宮崎県都城		

※()は令和4年度からの継続参加者。
※令和5年3月末時点の参加者であり、今後、追加・変更等が生じる場合があります。

6 気象業務法及び水防法の一部改正について

〔現状〕 (R5.3月末時点)
指定数 10河川 (国指定のみで県指定は無し)

〔水防法上の考え方〕
 流域面積が大きく、洪水により相当な損害を生ずるおそれがある河川を「洪水予報河川」に指定し、気象庁と共同してその状況を水位又は流量により水防管理者等に通知し、一般に周知することとなっている。

指定状況 (R5.3月末時点)

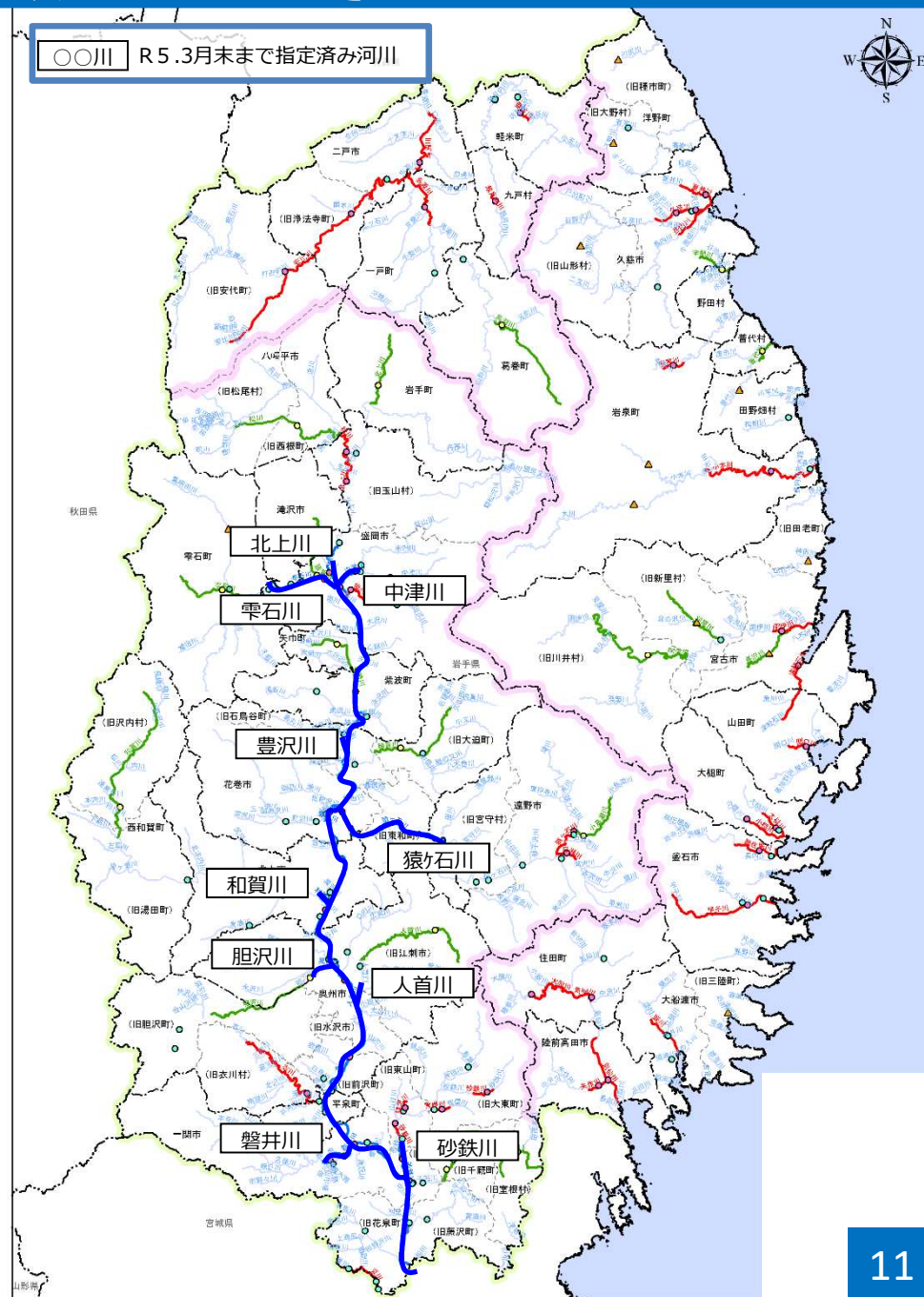
R5.3月末までに指定済	10河川 (国指定)	北上川、雫石川、中津川、猿ヶ石川、豊沢川、和賀川、胆沢川、人首川、磐井川、砂鉄川
--------------	-----------------------	--

気象業務法及び水防法の一部改正について (R5.5.31施行)

- ・国の洪水予報河川の水位を予測する過程で取得した県管理河川の予測水位情報を、県知事の求めに応じ、提供することが可能
- ・県と気象庁は当該情報を踏まえ、共同して洪水予報を実施することが可能
- ・国は、新たな県洪水予報河川指定を促進

県の今後の予定

- ・岩手県の河川は流域面積が小さく洪水予報を行う時間的余裕がない河川が多いこと等から、洪水予報河川は指定せず、水位周知河川等の拡充を図ってきた。
- ・今後は、国に水位予測情報の提供を求め、洪水予報河川指定の検討を進める。



7 陸前高田市の情報の伝達及び収集に係る新たな取組

陸前高田市防災局防災課

1 はじめに

本市における住民への防災情報の伝達は、防災行政無線を主とし、近年のインターネットやSNSの普及に合わせて、市HP、フェイスブック、ツイッター、LINEを活用している。なお、今年度からは、防災行政無線の放送内容は、市HP、各SNSへシステム自動連携により配信している。

現在、新たな手段として、NTT東日本と連携し、オートコールシステムとAIを活用した新システムの開発を進めている。

2 これまでの課題

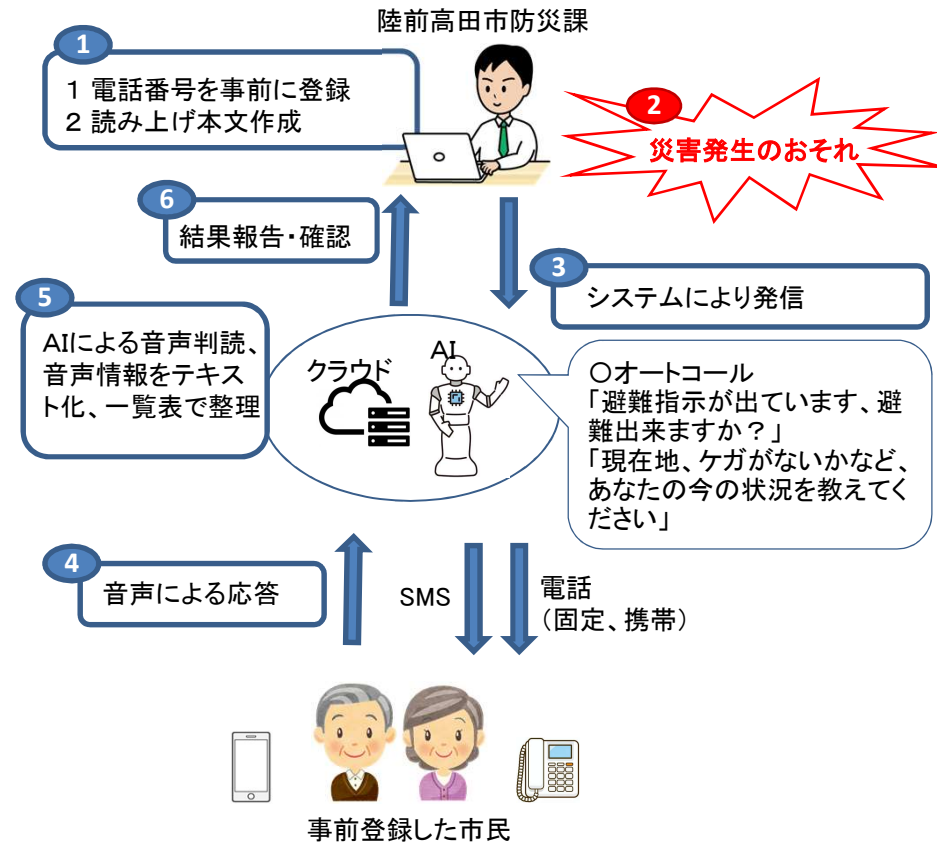
防災情報の伝達については、防災行政無線が聞き取りにくい、戸別受信機の電波状況も良くない、SNS等も使用出来ない高齢者等に対して、防災行政無線、SNS等を補完する新たな伝達方法の検討を行い、情報の到達度をより高める必要性が生じている。また、災害時における住民の安否情報等については、迅速かつ正確な収集及び整理が要求され、マンパワーによる事務が必要とされている。

3 課題解決に向けて

本市では、課題を解決するため、新たなシステムの構築に向けて、NTT東日本と連携して実証実験を重ねてきたところであり、このたび災害時における避難情報の伝達、市民の安否情報等の収集において、新たなシステムを導入する。なお、オートコールシステムとAIを組み合わせたシステムの防災分野における利用は、全国初となる。

○ システム名称
「オートコールシステム及びAIによる
災害時双方向情報伝達システム」

4 システムのイメージ



5 運用について

本システムは、今年度において、NTT東日本にシステム構築業務として委託している。今後は、市職員(各地区避難所開設担当職員、部課等の長など)で試行運用を行うとともに、市民の利用対象者(要配慮者者、避難行動要支援者など)を定めた後、今年度中の本格運用を目指すものである。